



～くず葉学園 相談支援事業所の開設から一年～

くず葉学園は、平成26年4月に相談支援事業所を開設しました。障害者総合支援法が求める理念の実現の一翼を担うべく活動をスタートさせましたが、その主な活動内容をここに紹介させていただきます。

そもそも、相談支援とは何を担う事業なのか、経緯を見てみましょう。

これまでは・・・

「障害支援区分」にて決められた範囲で「障害福祉サービス」を提供する事業所すなわち『くず葉学園』等の障害者支援施設に、サービスの実行が委ねられていました。

事業所では、利用者さんの「個別支援計画」を利用者・ご家族・事業所のサービス管理責任者の話し合いにより作成して「事業所利用に関しての内容（支援目標や支援課題等）」を共有してきました。ただ、この計画作成には行政も第三者の介入もありませんでしたから、限定された生活範囲に留まる傾向がありました。今回始まった・・・Plan

平成26年度改正された総合支援法の大きなねらいは、地域で展開される各種福祉サービスの利用を促進する（サービス等利用計画）ことにあります。障害者の皆さんが、地域での自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、また、より快適に過ごすことができるうえでの現状での困り感やご希望をうかがって、必要な障害福祉サービス利用に繋げることを目的としています。ここで、相談支援専門員が第三者としてご相談をお受けすることになります。

“困り感”や“こうあったらいいのに”へ対応

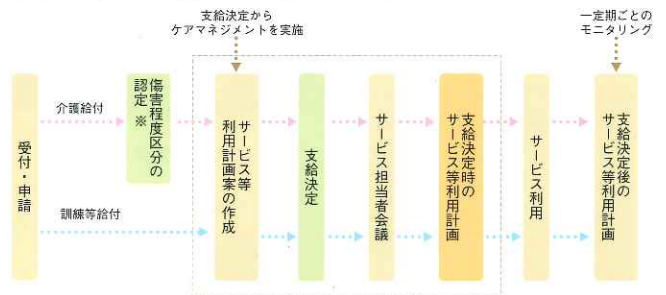
“困り感”や“こうあったらいいのに”を解決・解消しようと、まず利用者さん・ご家族等と話し合い希望内容に照らし、利用者個人に適した地域で提供されている障害サービス等をご紹介します。次にそれらサービスを盛り込んだ「サービス等利用計画案」を行政に提出します。行政はその内容が妥当かどうかを判断します。勿論、妥当性についての説明は、相談支援専門員から行政に丁寧な説明を行い、サービス等の支給決定につながるように努力いたします。

支給が決定されますと・・・Do そして Check ⇒ Action

障害者支援施設等の事業所で、実際にサービスの提供が開始されますが、その使い勝手や個々のニーズに即したものが等の判断が必要になります。思ったようにならない場合もあり得るからです。そこで一定の期

間を決め、定期的にモニタリング（継続支援）を行います。支給量や新たな「サービス等利用計画」の変更の有無を確認させていただきます。必要があれば計画の書き換え提案もします。

以下が相談支援一連の流れです。



これが事業の目的遂行のための対応の一連です

くず葉学園が相談支援事業に携わって最も大きな収穫は、改めて利用者皆様のその生い立ちや、ご家族が置かれてきた環境を知ることができた点です。更には、今ある姿が、どれほどご苦労をされてこられたの今であるかを、お聴きできたことでした。過去を知り、今を考え、将来を描くという過程が、この『相談支援』の最も重要なことなだと確信することができました。障害があっても、地域社会の中で、生きいきと暮らす、つまり「こう生きていきたい」の実現を、お手伝いすることが「相談支援」ということなのです。

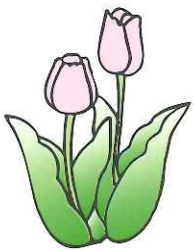
利用者さんの中には、思いを上手に表現できない方も大勢いらっしゃいます。他の相談支援事業所の専門員が相談を受けたと仮定した場合、おそらくその思いの半分も捉えられないでしょう。その意味で、今回の特別措置は幸運でした。それは、くず葉学園内の事業所での計画相談が可能になったことです。日常にお付き合いさせていただいている我々なら、利用者の皆さんがどんな思考をされ、興味関心がどこにあって、どんな生活を望まれているのかを相当範囲で理解できています。この最大のメリットを活かすことができます。

2年目に向けて更なる相談の核心を身に付け、より高い支援に繋がっていきたくと相談支援専門員一丸となって頑張りたく考えております。あくまでも客観的立ち位置からの事業所・福祉サービス利用の最善をサポートいたします。（相談支援事業所 早坂光）

利用者さんが日頃の活動で作った作品・製品の豆富、育てた花や椎茸、市内のJAやスーパーなどでも販売させていただいていますが、様々なイベントなどにも参加しています。今回はその一部をご紹介します。

県立戸川公園「チューリップフェア」

4月10日(金)～12日(日)、県立戸川公園の「チューリップフェア」で毎日先着100名の方に、学園で育てたチューリップの鉢植えがプレゼントされました。神奈川県公園協会40周年記念の一環として行われたイベントです。初日には園芸班の利用者さん自らが手渡しで配布しました。



イオンの日

毎月11日にイオン秦野店のご厚意で、市内障害者施設による作品・製品展示即売会が開催されています。くず葉学園は、ここ数年参加できないことが多かったのですが、今年ではできるだけ参加させて頂こうと考えています。5月・6月と参加し、たくさんの皆さまに製品をお買い上げいただきました。



商工まつり

5月23日(土)秦野市商工まつりに出店しました。晴天に恵まれた一日で、人出があり、くず葉学園のお店にもたくさんのお客様がいらしてくださいました。数名の利用者さんが来てくれて自分の作った製品を一生懸命販売してくれました。



ことしで29回目 ヤマメの放流

5月16日(土) 葛葉川上流にて『景釣会』の皆さんとヤマメの稚魚の放流を行いました。



ぎやらりーぜん“生きものがたりⅢ”

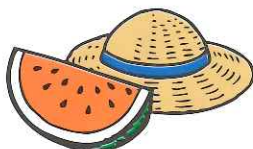
5月17日(日)～24日(日)、秦野赤十字病院前にある十全堂ビル2階「ぎやらりー ぜん」で開催された「生きものがたりⅢ」という展示会に参加させていただきました。

ジャンルを超えた23名の作家たちが様々な素材と技術で「命のかたち」をテーマに創作した作品展に、くず葉学園の作り手の利用者もみんなで見学に行きました。



セブンイレブン

「社会貢献したい」というオーナー様のご厚意で、セブンイレブン秦野幸町店に昨年からくず葉学園の販売コーナーを設けさせていただいています。先日、新しい製品に品物を一新しました。気軽に寄れるコンビニでぜひ利用者の皆さんが作った製品に触れてみてください。



今春、4名の若手職員が加わりました。先輩職員から見た新人さん紹介です。



菊池 茜さん
(きくち あかね)
4月からやまゆりクラスに仲間入りした女性最年少の茜さん。プロ野球“ロッテマリーンズ”の大ファン。野球の話になると熱くなります。若さとパワーで利用者さんに全力投球しています。持ち前の明るさでクラスの雰囲気をもたせてほしいです。持ち前の明るさでクラスの雰囲気を和ませてほしいです。 (Y)



末次 宏之さん
(すえつく ひろゆき)
新卒で入職のフレッシュマン。くず葉学園一の若手です。物静かでいつも皆さんに優しく接している姿はまさに平成の若き紳士。社会人としてすべてがーから学ぶことばかりで、大変な毎日だと思いますが、内に秘めた情熱とパワーで一つひとつクリアしています。末次さんといると誰もが穏やかでのんびりとした気持ちになれるので、あかしあクラスにほんわかとした風と空気を吹き込んでください。 (H)



一戸 啓介さん
(いちのへ けいすけ)
さわやかな青森の風が漂う一戸さん。介護職員の経験を活かして即戦力として活躍中。あかしあクラスでは介護技術の手際の良さに感動しています。早く仕事を覚え利用者さんのことを理解したいと積極的に取り組んでいます。初めての都会暮らしも楽しんで、元気ハツラツ。すでにあかしあ職員の頼れる存在になっています。 (H)



高根澤 士元さん
(たかねざわ しげん)
バイク大好きな平成生まれのフレッシュマン。一見頼りなさそうな雰囲気ですが、いやいやとんでもありません。利用者さんとの関係構築は早く、すでにさざんかクラスでは任せられる存在になりました。今後も他の職員の良いところを吸収して、自己研さんに励み、ステップアップを図ってくれると期待しています。 (M)

Junの簡単レシピ 血糖値を下げアンチエイジングにも「カラフル野菜のライスサラダ」

緑黄色野菜にはビタミンAやB1、B2、Cなどのビタミン類に加えカルシウムやリンなどのミネラルも豊富に含まれています。緑黄色野菜と玄米の食べ合わせが腸の働きを活発にして、便秘を防ぎ、血液を綺麗にして、解毒を促します。老化防止には欠かせないのが緑黄色野菜といえます。

材料

- 玄米(白米をかために炊いてもよい) 230g
- ミニトマト 4個 市販のミックスビーンズ 80g
- キュウリ 1本 パプリカ(赤・黄) 各60g
- ブロッコリーの芽(ブロッコリースプラウト) 少々(1パック)
- ベビーリーフ 60g(1袋)
- ドレッシングの材料
- バージンオリーブオイル 大さじ2杯
- 醤油 大さじ1杯 ワサビ 小さじ1杯
- 白ワインビネガー 大さじ1杯

作り方

① 炊飯器で玄米を炊いて、玄米ご飯を作ります。

- ② ボウルにバージンオリーブオイル、醤油、ワサビ、白ワインビネガーを入れ、泡立て器でよく混ぜ合わせます。
- ③ ミニトマトはへたを取り、楕形に切ります。キュウリは3mm幅の輪切りにし、パプリカは縦に切ります。
- ④ ボウルに③の野菜、玄米ご飯、ミックスビーンズ、ブロッコリースプラウト、ベビーリーフを入れ混ぜ合わせます。②のドレッシングをかければ出来上がりです。



MISAKOのカルテから

歯周病のリスク

朝、目が覚めたときにお口がネバネバしていた経験は、誰にでもありますね。

ご存知ですか? 口の中には400種類もの細菌がいることを。そして、成人の80%が罹っていると言われ、歯を失う原因の第1位となっているのが『歯周病』だというデータがあります。

歯周病になると、全身疾患のリスクが高まり、糖尿病・心疾患・脳血管障害にも影響してきます。口腔ケアは全身疾患の予防にも大きく関与しています。

歯医者さんは虫歯の治療だと考えずに、毎年の検診と毎日の歯磨き、歯間部ケアで『歯周病』を予防しましょう。

研修会だより

(7月31日現在)

4月	菊池 茜	新任研修(毎月1回 6カ月)
	末次 宏之	新任研修(毎月1回 6カ月)
	高根澤士元	新任研修(毎月1回 6カ月)
	末次 宏之	介護技術研修(基礎編)
5月	森下 桂子	高齢者セミナー
6月	一戸 啓介	普通救命講習Ⅱ
7月	末次 宏之	普通救命講習Ⅱ
	高根澤士元	普通救命講習Ⅱ
	笹本知栄己	関東地区知的障害福祉関係施設職員研究大会
	松本潤一郎	関東地区知的障害福祉関係施設職員研究大会
	山崎 友恵	チームビルディング研修
	和賀 央哲	チームビルディング研修
	全 職 員	人権を尊重した関わりDVDユマニチュードを見てグループ討議

編集後記

平成27年度、新たな広報委員が加わり第7号の発行に携わりました。くず葉学園の日常が、ご家族の皆様、関係者にお伝えできたならば、その役割が果たせたと思います。読者の立場でのご意見、投稿をお待ちしています。

広報委員会	委員長	小久保孝二	事務長
	委員	井上 浩一	日中支援課長
		古家 奈美	生活支援課係長
		畠山 忍	生活支援課
		原田 智治	日中支援課
		津嶋 純一	管理栄養士